

第114回 『わかるように伝えていますか』

香川大学 坂井 聡

今回はちょっとしたお知らせです。

このたび、エンパワメント研究所から「知的障害や発達障害のある人との コミュニケーションのトリセツ」と題した書籍を刊行させていただきました。

私は、かつて2002年に「自閉症や知的障害をもつ人との コミュニケーションのための10のアイデア」を刊行させていただき、おかげさまでその後17年間で23,000部も発行されました。

しかし、その後、障害者を取りまく環境にはさまざまな変化がありました。

障害者に対する考え方や法律・制度にも大きな変化や進展がありました。

また、障害をもつ人たちとのコミュニケーションをサポートする機器やICTと呼ばれる情報通信技術の環境も大きく変わりました。

とりわけ、スマホや携帯型情報端末の進化、さらにはそれらを利用して活用されるアプリの開発などは実に日進月歩です。

しかし、相談に来る人の数は減らず、その内容も17年前とほとんど変わらないのです。このままでは、いけないと思い、再度、思いを強くして執筆しました。

本書では、そうした変化をもふまえつつ、障害をもつ人とのコミュニケーションという変わらない問題についての、決して忘れてはならない視点についてまとめています。

機会がございましたら、お手にとってお読みいただくと幸甚です。

～坂井聡先生の紹介～

((プロフィール))

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部障害児教育コース准教授。1997年には自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞。2013年より教授に就任。